

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2026年9月）議事録

日 時：2026年9月3日（木）午後5時30分～7時35分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：永富良一理事長

出席者：永富良一理事長、小熊祐子副理事長、
中田由夫常務理事、井上 茂、岡浩一郎、
甲斐裕子、後藤勝正、下光輝一、須永美歌子、
田畑 泉、田村好史、成田和穂、浜岡隆文、
檜垣靖樹、前田清司、町田修一、宮川俊平、
宮地元彦各理事、石井好二郎監事、
津田英一第80回大会長、
松田尚也第80回実行委員長、
西村信哉第80回事務局長、
田島卓也第81回大会長、
山口奈美第81回大会事務局長、
増木静江第82回実行委員長

欠席者：内藤久土副理事長、赤間高雄、勝川史憲、
竹森 重、中里浩一、宮下政司各理事、
清田 寛、小林康孝各監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（永富理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

2. 令和8年度庶務報告に関する件について （中田常務理事）

資料に基づき、令和8年度庶務報告がなされた。

2026年7月31日現在、会員総数は3,161名（昨年度から93名減少）、評議員は472名（内医師61名、非医師411名）、賛助会員4団体、新入会員178名（昨年度から98名減少）、退会者277名（昨年度から81名減少）、内自然退会90名（昨年度から67名減少）であることが報告された。また、2年以上会費未納者リストが提示され、2年以上の会費未納者については、所定の時期までに会費納入されなければ、自然退会とすることが承認された。

3. 令和8年度会計報告（決算）に関する件について （中田常務理事、宮川財務委員長）

資料に基づき、令和8年度決算について、報告された。

収入の部：

会費収入は32,135,400円（内正会員29,780,000円）であり、収入合計は79,862,298円となった。

支出の部：

支出合計額は81,661,285円となった。当年度収支差額は1,798,987円の赤字決算となった。

4. 令和8年度事業報告に関する件について （永富理事長）

資料に基づき、令和8年度事業の概要が報告された。

1) 総務委員会（井上総務委員長）

- ・長野大会長の推薦
- ・シニア会員の推薦
- ・規程の整備

- ・「シニア会員制度内規」の策定、「弔行為に関する申し合わせ」
- ・「役員選出に関する規程」の改定
- ・名誉会員名簿、評議員名簿の公開
- ・部会・若手の会の運営、JSPO-AT部会の設立
- ・大会後アンケートの実施
- ・会員情報の集計・公表
- ・大会支援マニュアルの作成

2) 編集委員会（後藤編集委員長）

1. 学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）
「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFISM)」
Vol. 14のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 15のNo. 1, No. 2, No. 3
「体力科学」
Vol. 74のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 75のNo. 1, No. 2, No. 3

1) 電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『早期公開 (JPFISM)』、『印刷前公開』での実施及びDOAJへのメタデータアップロード

2) JPFISM, 体力科学掲載論文リストのメール配信

2. 利益相反 (COI) に関する運用指針改定に伴い、「体力科学」誌「JPFISM」誌投稿規定改訂 (10/10)
3. 「JPFISM」誌、J-STAGE早期公開開始 (12/11)
4. J-STAGE オンライン投稿審査システムの運用方針見直しによる「ベーシック投稿審査システム」への移行説明会参加 (4/23)

※現在のJ-STAGEのオプション利用の「Editorial Manager」は2027年9月末で終了。EMの日本総代理店との直接契約での「Editorial Manager」の継続利用の検討。

3) 学術委員会（町田学術委員長）

- 1) 第79回日本体力医学会大会滋賀大会において、学術委員会主催の教育講演を2題（AI活用および論文作成支援）開催した。
- 2) AIをテーマとしたオンライン学術セミナーを2回（2025年12月、2026年3月）開催した。
- 3) 8研究機関による多施設共同運動介入研究を実施した。
- 4) 日本栄養・食糧学会との学会間連携事業として、第80回日本体力医学会大会青森大会における合同シンポジウムを企画した。
- 5) 第80回日本体力医学会大会青森大会において、学術委員会主催のシンポジウムを2題（AIおよび多施設共同運動介入研究）企画した。

- (1) スポーツ医学研修会委員会（町田学術委員長）
第31回スポーツ医学研修会は下記の要領で実施された。

基礎コース

オンライン講義は2025年8月1日～31日に配信
全て60分のオンデマンド教材
学会大会におけるシンポジウムに参加
基礎医学コース 4コマ

中枢・末梢神経系（渡邊航平 中京大学）
運動器系（山田崇史 札幌医科大学）
循環器・呼吸器系（片山敬章 名古屋大学）
代謝・栄養、加齢（藤田聡 立命館大学）
運動・スポーツ医学コース 4コマ
スポーツ医学 内科（深尾宏祐 順天堂大学）
スポーツ医学 外科（鳥居俊 早稲田大学）
運動処方基礎（レジスタンス）

（菊池直樹 日本体育大学）

運動処方基礎（有酸素）
（沼尾成晴 鹿屋体育大学）

運動療法（予防、健康づくり、公衆衛生、リハビリ）コース 4コマ

運動器疾患に対する運動療法
（中村雅俊 西九州大学）

運動による健康づくり（身体活動量増加とその評価などの実践）（宮地元彦 早稲田大学）

メタボリックシンドロームに対する運動療法
（田村好史 順天堂大学）

運動疫学（身体活動量増加とその評価などの理論的背景）（小熊祐子 慶應義塾大学）

なお、基礎コース受講者は18名であった。

CBT 試験

2025年10月27日(月)～11月3日(月)

50問各2点で実施した。5名が受験し全員合格した。

応用コース

2025年12月27日、日本体育大学世田谷キャンパスで行った。

9:00～9:30 本日の実習の流れ、測定の大略

9:40～10:40 呼吸循環機能検査（間接測定）
（講師：神谷未花）

10:50～11:50 筋力測定（フリーウエイト）
（講師：三矢紘駆）

12:00～13:00 休憩

13:00～14:00 呼吸循環機能検査（直接）
（講師：亀本佳世子）

14:10～15:10 筋機能検査（バイオデックス）
（講師：菊池直樹）

15:20～16:20 サルコペニア診断、ロコモ体操
（講師：鴻崎香里奈）

9名が参加した。

(2) 学会賞等選考委員会（宮地学会賞等選考委員長）

1) 第39回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。

2) 第80回日本体力医学会大会（青森大会）大塚スポーツ医・科学賞の選考を行った。

3) 学会賞等選考委員会内規の変更を検討した。

4) 第32回日本医学会総会奨励賞推薦候補者の選考を行った。

5) ECSSとの交流セッション候補者の選考を行った。（渉外委員会との合同）

6) 韓国運動生理学会への派遣シンポジストの選考を行った。（渉外委員会との合同）

4) 財務委員会（宮川財務委員長）

令和8年度に於いて、収入、支出が適正に行われ

たこと、各委員会においては委員会の活動に対して適正な予算の執行が行われていることを確認した。

5) 利益相反委員会（成田利益相反副委員長）

他学会の組織COIの現状についてまとめた。

申告・開示の対象は以下の4つに大別される。

1) 診療ガイドライン作成委員・査読委員：このケースが最も多い。診療ガイドラインを策定している学会（日本内科学会、日本循環器学会、日本感染症学会、日本小児循環器学会）

2) 学会の組織COI：企業や営利団体から学会に支払われる研究助成、寄付金、学術集会（地方会を含む）の企業関連セミナー等の金額を年度ごとに公開（日本精神神経学会、日本女性医学会）

3) 学会プラス役職者（理事長、副理事長、理事、監事等）（日本臨床腫瘍学会）

4) 学術集会の発表演者（日本消化器病学会）

3, 4) は現時点では少数。今後、委員会で議論を重ね本学会の組織COIの策定を検討する。

6) 評議員選考委員会（浜岡評議員選考委員長）

1. 令和7年度評議員候補者12名を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた。（男性：8名、女性：4名）

2. 令和8年度評議員候補者として6件の申請があり、Web会議にて慎重に審査したところ全員「適格」と判定した。（男性：3名、女性：3名）

7) 渉外委員会（中田常務理事）

2025年度若手研究奨励賞（国際学術交流）

若手研究者・学生への表彰（滋賀大会で独自のセッションを設け、口頭発表にて審査）

1次審査の書類選考にて9名の会員より応募があり、6名が滋賀大会での2次審査に選出され、最終的に以下の3名が若手研究奨励賞（国際学術交流）受賞

第1位 田淵絢香（電気通信大学）

第2位 李東旻（筑波大学）

第3位 曾我啓史（東北大学）

2026年度日本体力医学会若手研究奨励賞（国際学術交流）

青森大会での発表のための選考

7名より応募があり、学会賞等選考委員会による審査の結果、7名全員を青森大会での最終審査のために選出

European College of Sport Science (ECSS) との交流シンポジウム

ECSS Lausanne 2026での公募シンポジウムへの派遣2件の応募があり、学会賞等選考委員会による審査の結果、1件を採択し、以下の日本体力医学会会員2名を派遣

城所哲宏（日本体育大学）

鳥取伸彬（兵庫教育大学）

青森大会における ECSS との交流シンポジウムのための選考

渉外委員会委員による推薦を経て、学会賞等選考委員会の審査の結果、以下の日本体力医学会会員2名を選出

永田康喜（日本体育大学）

廣野哲也（京都大学）

Korean Society of Exercise Physiology との交流シンポジウム

2026 Korean Society of Exercise Physiology 年次集会への派遣

2名より応募があり，学会賞等選考委員会による審査の結果，以下の日本体力医学会会員2名を派遣

岩田全広（日本福祉大学）

星野太佑（電気通信大学）

青森大会における Korean Society of Exercise Physiology との交流シンポジウムのための選考

渉外委員会委員による推薦を経て，学会賞等選考委員会の審査の結果，以下の日本体力医学会会員2名を選出

田淵絢香（東洋大学）

河野史倫（松本大学）

2025 World Congress on Kinesiology & Sport Science（2025年10月：韓国）への派遣

日本体力医学会が共催として開催する国際学会

シンポジウムテーマ：Evidence Identified by Health Science Studies. Are They Practical in Real Life? - Responsibilities of Health Science Research

座長：宮下政司（早稲田大学）

渉外委員会委員による推薦を経て，以下の日本体力医学会会員3名を選出

シンポジスト：城所哲宏（日本体育大学），紙上敬太（中京大学），山田満月（和光大学）

（中京大学），山田満月（和光大学）

【国内学術事業】

第103回日本生理学会大会での合同シンポジウムへの派遣

当該セッションの座長によるシンポジストの選出後，学会賞等選考委員会の審査を経て，以下の（日本体力医学会会員）2名を選出

土屋吉史（産業技術総合研究所）

草野雅貴（福岡大学）

8）倫理委員会（成田倫理委員長）

1．第79回大会（滋賀大会）の一般演題登録時の倫理的手続きの集計結果について，滋賀大会事務局と解析を行ったところ，動物実験の演題の一部で選択肢のチェックに迷った事例があったことが明らかとなった。

2．このため，第80回大会（青森大会）では，選択肢をより明確にすることで，青森大会事務局と協議を行った。

9）広報委員会（田畑広報委員長）

ホームページの全面改定に関する作業

体力医科学に関する最近のトピック（令和7年9月から令和8年8月：12本）のホームページへの掲載

10）男女共同参画推進委員会

（甲斐男女共同参画推進委員長）

滋賀大会における委員会企画シンポジウム

男女共同参画推進委員会による企画シンポジウムを実施

▶日時：2025年9月17日（水）13：15-14：45

▶タイトル：研究とライフイベントの両立支援：二兎を追うための戦略を知ろう

2025年度会員アンケートの実施と結果の公表

全学会員を対象に「ライフイベントと研究の両立」に関するアンケートを実施

▶実施期間：2025年8月20日～9月1日

▶総回答数：337件（有効回答331件）

▶結果の公表：滋賀大会のシンポジウムで紹介し，体力科学に資料論文として投稿中

青森大会における委員会企画シンポジウムの提案

男女共同参画推進委員会による企画シンポジウムを提案し，以下で実施予定

なお，会員間のコミュニケーション促進のためワークショップ形式を導入

▶日時：2026年9月26日（土）10：10-11：40

▶タイトル：研究とライフイベントの両立支援：二兎を追うための戦略を知ろう（実践編）

2026年度会員アンケートの立案

全学会員を対象に「ライフイベントと研究・教育活動の両立のためのティップス（実用的なコツ）収集のためのアンケート」を立案

▶実施期間：2026年8月10日～8月28日（予定）

▶結果公表の予定：青森大会のシンポジウムで紹介するとともに，ティップス集等として取りまとめホームページで公開を検討中

11）全国地方会実行委員会（岡全国地方会実行委員長）

1．各地方会における課題（地方会の開催形態等）の整理・検討

2．各地方会の円滑な運営に向けて，それぞれの規約等の収集・整理

12）プログラム委員会（須永プログラム委員長）

1．滋賀大会本部企画プログラム2件の実施

2．青森大会本部企画プログラム1件の企画・運営

3．青森大会本部企画プログラム12件の調整

5．令和9年度会計報告（予算）について

（中田常務理事，宮川財務委員長）

資料に基づき，令和9年度の予算案について報告された。

収入の部：

現在の会員数および会費納入率実績（90％）に基づいて試算し，正会員会費は27,411,000円，会費収入全体では29,705,100円として計上した。今年度研修を実施することなどにより，収入額合計は68,664,500円として計上した。

支出の部：

ウェブサイト管理費，各種委員会活動費の増額，選挙関係費などにより，支出合計予算額が81,069,500円となった。当年度収支差額は△12,405,000円となる見込みである。

審議の結果，原案どおり承認された。

6．評議員推薦に関する件（浜岡評議員選考委員長）

資料に基づき，評議員選考委員会において候補者6名に対しての審査を行い，全員が評議員選考条件を満たした旨の報告があり，令和8年度の評議員候補者として6名（内，女性3名）を評議員に推薦することが承認された。

7. 体力科学「早期公開」導入について(後藤編集委員長)

「体力科学」誌において、著者からのリクエスト増加に対応するため、J-STAGEでの「早期公開」制度を導入することが提案された。年間約15万円(初年度は過去分含め20万円弱)の費用が発生する旨が説明され、審議の結果、承認された。

8. 総務委員会各種議題について(井上総務委員長)

1) 定款の改定について

定款の改定について提案され、第80回(青森)大会の評議員会兼社員総会で予告を行い、後日、オンライン社員総会を実施する旨が承認された。

2) 定款施行細則の改定について

定款施行細則の改定について提案され、第80回(青森)大会の評議員会兼社員総会で予告を行い、後日、オンライン社員総会を実施する旨が承認された。

3) (新) 会員名簿の取り扱いに関する規定(案)について

会員名簿の取り扱いに関する規定(案)、会員名簿利用申請・誓約書、会員名簿破棄報告書について説明がされ、承認された。

4) 研究テーマを基にした新たな部会設立の希望について

がん支持療法部会の設立について説明がされ、今後、学術委員会で運用が検討される旨、承認された。

5) 被災地支援WGの立ち上げにあたって新委員の任命について

被災地支援WGの立ち上げにあたり、新委員(大石寛氏、鳥取伸彬氏)の任命が承認された。

【報告事項】

1. 日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について(町田学術委員長)

資料に基づき、日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について報告がなされた。日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者8名の氏名リストが掲示され、承認された(内、終身称号者は1名)。

2. 各種委員会報告

1) 編集委員会(後藤編集委員長)

資料に基づき、「JPFSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

1. 「JPFSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況 ＜投稿状況＞(2025年9月1日～2026年7月31日)

「JPFSM」誌：新規投稿38編(内海外5編)

※前年同期間：新規投稿38編(内海外3編)

7/31現在、審査中10編

(採択13編、不採択13編、取下げ2編)

※受付不可5編(投稿規定に沿わない等で原稿返却、海外5編)

「体力科学」誌：新規投稿42編(内特集号4編、依頼5編、寄稿1編)

※前年同期間：新規投稿25編

7/31現在、審査中10編

(採択20編、不採択11編、取下げ1編)

＜発行予定＞

「JPFSM」誌

○Vol. 15, No. 5 (2026年9月25日発行)

Review Article 1編, Regular Article 4編

○Vol. 15, No. 6 (2026年11月25日発行)

Proceedings

○Vol. 16, No. 1 (2027年1月25日発行)

Regular Article 4編

○Vol. 16, No. 2 (2027年3月25日発行)

Regular Article 3編,

Short Communication 2編

○Vol. 16, No. 3 (2027年5月25日発行)

Regular Article 4編

○Vol. 16, No. 4 (2027年7月25日発行)

Regular Article 3編,

Short Communication 1編

○Vol. 16, No. 5 (2027年9月25日発行)

Regular Article 3編,

Short Communication 1編

○Vol. 16, No. 6 (2027年11月25日発行)

Proceedings

○Vol. 17, No. 1 (2028年1月25日発行)

Regular Article 1編 + (今後の受理論文)

「体力科学」誌

○Vol. 75, No. 5 (2026年10月1日発行)

資料2編, 教育講座1編

○Vol. 75, No. 6 (2026年12月1日発行)

原著1編, 教育講座2編

○Vol. 76, No. 1 (2027年2月1日発行)

大会指定演題

○Vol. 76, No. 2 (2027年4月1日発行)

原著2編, 教育講座1編

○Vol. 76, No. 3 (2027年6月1日発行)

原著3編

○Vol. 76, No. 4 (2027年8月1日発行)

原著1編 + (今後の受理論文)

2) 学会賞等選考委員会(宮地学会賞等選考委員長)

資料に基づき、大塚スポーツ医・科学賞の受賞者(2名)が報告された。

3. 第80回(青森)大会の進捗状況(津田第80回大会長)

津田大会長より、第80回(青森)大会の進捗状況が報告された。

4. 第81回(宮崎)大会の進捗状況(田島第81回大会長)

田島大会長より、第81回(宮崎)大会の準備状況が報告された。

5. 第82回(長野)大会の進捗状況

(増木第82回実行委員長)

増木実行委員長より、第82回(長野)大会の準備状況が報告された。

6. 大会後アンケート実施について(井上総務委員長)

井上総務委員長より大会後のアンケート実施について報告された。

7. 会員情報の集計について（井上総務委員長）

井上総務委員長より会員情報を集計してHPへ公開する旨、報告された。

8. 次ヶヶ期の大会長（群馬）に関する現状報告

（井上総務委員長）

井上総務委員長より次ヶヶ期の大会長（群馬）選出の状況について報告された。

9. 大塚スポーツ医・科学賞の選考について

（宮地学会賞等選考委員長）

宮地学会賞等選考委員長より大塚スポーツ医・科学賞の選考について説明され、奨励賞に土田竜貴氏、学生奨励賞に岡村省梧氏を選定の旨、報告された。

10. 日本医学会総会奨励賞の推薦候補者の選考について
（宮地学会賞等選考委員長）

宮地学会賞等選考委員長より日本医学会総会奨励賞の推薦候補者に町田征己氏を選考し、理事会に推挙する旨、報告された。

11. 青森大会でのECSSとの交流セッションについて
（宮地学会賞等選考委員長）

宮地学会賞等選考委員長より、青森大会におけるECSSとの交流セッションの候補者として永田康喜氏、廣野哲也氏を選考し、渉外委員長の宮下先生に推薦する旨が報告された。

12. その他

1) 日本医学会連合領域横断的連携活動事業（TEAM事業）について（小熊副理事長）

小熊副理事長より資料に基づき、TEAM事業について報告された。

2) 健康日本21推進全国連携協議会 連携指標ワーキンググループについて（小熊副理事長）

小熊副理事長より資料に基づき、健康日本21推進全国連携協議会の連携指標ワーキンググループについて報告された。